

腎臓内科:愛媛県立中央病院年報(2021年診療業務報告書)

■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10準拠)	2018	2019	2020	2021
慢性腎臓病・腎不全	138	129	44	23
急性・慢性腎炎症候群	64	53	50	56
ネフローゼ症候群	44	48	46	36
末期腎不全	121	124	164	94
急性腎障害	20	23	14	10
SLE	9	7	4	2
シャントトラブル	37	59	87	59
血管炎	16	25	28	17
心不全	16	24	26	23
CAPDトラブル	24	12	15	7
その他	80	72	49	23
合計	569	576	527	350

■ 透析

	2018	2019	2020	2021
腎代替療法外来受診数	53	124	99	122
血液透析 導入数	105	93	89	98
腹膜透析 導入数	6	13	9	5

■ 腎生検成績

診断名	2018	2019	2020	2021
IgA腎症	13	20	11	17
膜性腎症	14	5	5	6
微小変化型ネフローゼ	5	6	6	7
糖尿病性腎症	10	10	0	5
微小変化	6	2	1	1
腎硬化症	11	10	4	2
移植腎生検	0	2	0	4
半月体形成性腎炎	6	5	4	5
ループス腎炎	2	2	0	1
アミロイドーシス	3	1	1	0
間質性腎炎	2	4	6	4
紫斑病性腎炎	1	1	1	0
巣状糸球体硬化症	2	3	1	1
膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	0	1
その他	15	6	5	6
合計	90	77	45	60

<扁桃腺摘出術及びステロイド・パルス療法>

IgA 腎症に対しては、腎炎の活動性を評価のうえ、完全寛解を目指して扁桃腺摘出術を行い、その後、ステロイド・パルス療法及び経口ステロイド投与を行っています。若年者ではほぼ全症例に推奨しています。

<腎臓病教育入院>

腎機能の保持と合併症予防のため、1 週間のプログラムで教育入院を行っています。ただ 2021 年は COVID-19 の影響で積極的な教育入院は行いませんでした。